

学校関係者評価報告書
(対象年度：平成30年度)

令和2年6月

獨協医科大学附属看護専門学校

学校関係者評価委員会 委員構成

保護者 2名

卒業生 2名

高等学校等の関係者 2名

企業・地域等の関係者 2名

学校関係者評価 評価まとめ

< I 重点課題について >

1. 重点課題1について

- 小項目1及び3はスクールガイドやシラバスを確認するとしっかりと明記してあり適切と思います。
小項目2及び4は人材ニーズ社会ニーズに対してのことですが、ニーズは環境の変化により変わっていくと思いますので、その変化に柔軟に対応できる広い視野を持てる育成が重要だと思しますので、ほぼ適切だと思います。
中項目全体的に根拠を確認しますと、十分な取り組みが感じられますので総合的に適切と評価をいたします。

- 本校は、獨協医科大学の建学の精神に基づき教育理念・目的・期待する卒業生像を教育目標に定めており、医科大学の附属専門学校としての特性を生かした教育活動に取り組んでいる。
また、獨協医科大学が有する3つの病院はもとより、地域社会が求める看護師の育成を行うことにより、地域社会への貢献が図られている。

- 現代の社会構造としては、人口減少の上にグローバル化、第4次産業革命、人生100年時代、地方創出といういびつな構造であるので、高大接続改革実施方針に基づき、学力の3要素の育成が不可欠である。そのためにもアドミッションポリシーとディプロマポリシーにあるように、倫理観を育み、チーム医療を通して協働できる主体性を有した実践能力のある看護師を育成するカリキュラムポリシーの明示が必要かと思われる。

- 貴校の教育理念・目的についてはスクール・ガイドで確認できました。期待する卒業生像については学生のみなさんにお伝えしているのか、教えてください。
期待する卒業生像は看護の人材ニーズに適合しているかについては、多くの卒業生の就職先である獨協医科大学病院・獨協医科大学埼玉医療センターに検証を依頼できるでしょうか。

「患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される看護師を育成する」という理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるかについては、獨協医科大学病院・獨協医科大学埼玉医療センターに依頼できるでしょうか？

社会ニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているかについては将来どのような社会的なニーズが考えられるか分からないので、医療現場の病院に尋ねることはできるでしょうか？

○適切である。

わかりやすい表現である。

○医科大学の附属という特性を鑑み、理念や教育目標が掲げられている。

理念等を HP やシラバスに掲載し周知している。

国際化、ならびに地域医療がフォーカスされる今、期待する卒業生像にもより明文化する必要があると考える。

2. 重点課題 2 について

○小項目 13 はシラバスに明確に掲載されており、適切と思います。

小項目 14、15、16 については根拠をもとにしか評価が出来なくほぼ適切と思います。

小項目 17 は基準を明確化し、判定も最終的に学長の承認が必要なものは十分に納得ができ適切と評価をいたします。

○本校の教育理念・教育目標及び基本方針等に従い、学科課程を構成しており、3年間に於いて、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野Ⅰ・Ⅱ」「統合分野」の5分野に区分し、＜人間の心と体の基本を理解する＞、＜看護実践の基礎を磨く＞、＜臨床看護実践能力を身につける＞とのステップを踏んだカリキュラムにより、卒業後、臨床現場にスムーズに適応できるような編成となっている。

また、教育課程の編成及び改訂にあたっては、関連する業界や獨協医大病院と連携し、意見・情報を参考に行っている。

授業評価が実施されているが、今後、非常勤講師への実施が望まれる。単位認定・成績評価は、規程を整備して明確化されており、教員会、運営委員会を経ることにより適正に行われている。

- 各科目の学習目的・目標や講義内容をシラバスに掲載して明確化している
ので特に問題は認められない。
また、成績評価及び単位認定に関しては、説明責任を伴うが評価規定を整
備し明確化を図り、学長承認を得るので問題は認められない。
- 教育方法については書類だけでは分からないので、実際の授業を参観させ
ていただきたいと思います。
- 適切である。
- 教育の目的や内容をシラバスに明示している。
学校だけでなく病院側と連携を図りながら、目的に合致した教育を目指し
ている。

3. 重点課題3について

- 小項目 37 は教育を受けるにあたり十分な知識と技術を習得するに絶対的に
必要であり、やや不適切の判断は残念ですので色々な課題があると思いま
すが是非ほぼ適切以上の評価が出来るようにお願いいたします。
小項目 39 は自衛消防隊を組織していると考え、十分適切と評価します。
小項目 40 は根拠で確認しますと何の問題もなく適切と評価してよいと思
います。
- 施設の老朽化、狭隘化により教室等の不足が生じていることから、施設の
整備については、対応について検討すべき。
防災については、「自衛消防隊」を組織し、全学的な防災訓練を実施して
いることは、高く評価する。
安全管理体制については、保健センターの設置、災害時の備蓄・マニユ
アル作成等がなされているほか、防犯対策も講じられており、学生の安全
確保が図られている。
なお、学生の具体的行動マニュアルの作成が望まれる。
- 施設・設備に関しては設置基準に適合しているが、老朽化や狭隘化の問題
があり、総勢 300 人の学生が利用する教室、実習室などが不足した状況で
あるので、増設等が望まれる。また、学校 I C T 化にも積極的対応が期待
される。

一方、防災組織体制や安全管理体制は、自衛消防隊を組織したり、学生全員が学生総合保障制度に加入するなど、安全教育に問題は認められない。

○教育上の必要性に十分に対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか、防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか、学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているかについては、書類だけでは分からないので、説明を受けながら、実際に学校を見学させていただきたいと思います。

○適切である。

防災に対する組織体制の整備、安全管理体制の整備を評価基準に取り入れたことはたいへん評価できる。

○施設に関しては、学生の人数相応の広さや機能性を有しているとはやや言い難い。

現状では看護学部や病院など教育に十分な設備があるところを借りるなどの対応も必要だと考える。

災害時対策、防犯対策など必要な策を講じている。

< II 各評価項目について >

1. 教育理念・目的・期待する卒業生像

○看護教育はすべての人やその時の状況に応じた対応できる教育が必要と思いますので、ニーズを把握し教育課程やシラバスに反映させるだけでなく不測の事態（コロナ感染）の時でも対応できる人材育成の教育も取り組んでいただければと思います。

○概ね適切であると考えます。

今後は、さらに地域社会と深い関わりを持つ学生・卒業生が増えることが望まれます。

○建学の精神に基づき、倫理観を備えた地域貢献できる看護師の育成は言うに及ばず、グローバル化社会に即応できるかつ、患者とその家族まで気持ちが届く幅と深みのある人材育成を目指す必要があると思われる。

○2018年度卒業生95人のうち、57人が獨協医科大学病院に就職していますが、大学病院と一般の総合病院では看護師に求められる資質に違いはありますか、教えてください。

○評価は適切である。

根拠に記載されているように、今後教育課程の策定においては、地域社会のニーズに適合しているかを検証することが必要であろうと思われます。

○医科大学の附属という特性を鑑み、理念や教育目標が掲げられている。目的に沿った教育計画がある。

2. 学校運営

○学校運営は適切な評価がほとんどでしたので問題ないと思います。

情報システムについては、今回の様にオンライン授業の事を考えるとネットワークのセキュリティ対策の強化は必要になってくると思います。

○適切な学校運営がなされていると考えます。

本校を含めた獨協医大は、地域にとって単なる学校ということではなく、地域の活力の源でもあることから、引き続き、健全な学校経営を望みます。

○教育理念・教育目標に基づき、毎年基本方針を策定し、また教職員全員が共通理解をはかり、成果を上げることに全力で対応するなど、特に問題点は認められない。

ただ、管理運営を司る運営委員会の事務及び教務部門の位置づけや具体的役割の整備が望まれる。

○国家試験合格率が高く、貴学は高校など外部からの信頼も厚いので、現在の学校運営で十分良いと思います。学校運営上の問題点や課題については貴学の先生方が一番分かっていると思うので、学生への教育活動を中心に考えて、仕事が進めやすいように改善しておくのはどうでしょうか。

○評価は適切である。

- 運営にあたっては運営委員会が設置され、意思決定が行われている。
基本的な方針を理解した上で運営され、関係部署への周知もされている。

3. 教育活動

- 今後の改善方策についてですが、シラバスの作成を学生が主体的に取り組むと明記されておりこの事はすごく良いことだと思います。
ただ主体的に取り組む事は大変難しい事と思いますので、どの様に学生が自己意識を持ちモチベーションを上げていくのが大切だと思います。
学生による授業評価は、積極的に活用することにより学生だけでなく教員にも良い事だと思います。

- ホームカミングデイなど、卒業生と在校生が交流する場があると、在校生にとっては「モデル的存在」ができ、卒業生にとっては、「母校への貢献意識」が高まることが期待できるのではないかと思います。

- 教育の本質的な部分に対するコメントは難しいところではありますが、教育理念・教育目標に沿った教育が実践されていると考えます。
シラバスを拝見したところ、医学的な授業の他に、文章表現、コミュニケーション、社会学、ジェンダー論、社会保障、災害時の看護などがあり、また、参考資料のなかに、テレビドラマがあるなど、創意工夫されていることが伺えました。
なお、より良い教員の確保、教員の資質の向上、授業内容の充実に努めていただきたいと考えます。

- シラバスのあらたな内容強化を望みます。

- 教育理念、教育目標、基本方針などより、教育計画や各科目の学習目的、授業内容がシラバスに掲載され、教職員にも周知されているので問題点は認められない。
ただ、教員の実務経験や高い専門性やスキルだけではなく、人間力の向上も望まれる。

- 教育活動については書類だけでは分からないことが多いので、課題等について説明を伺いたいと思います。

- 評価は適切である。
教員間での連携・協力体制が構築し、教育方法の改善に取り組んでいることはたいへん評価できると思われます。
- 教育の目的や内容をシラバスに明示している。
学校だけでなく病院側と連携を図りながら、目的に合致した教育を目指している。
体系的にカリキュラムがまとめられている。

4. 学修成果

- 卒業生の社会的評価がやや不適切の評価になっているが、やはり本学の病院以外に就職した卒業生の動向も学生にとって重要なポイントだと思います。自分が学んできた事が全ての所で活かせるのか学生は知りたいと思います。
- 卒業生の動向として、卒業生の活躍並びに業績を含めた社会的評価については同窓会と連携して把握していくことが今後可能であると思ひます。
- 就職に関しては、ほぼ全員が目標通りの就職を実現しているが、平成30年度における国家試験の合格率が92.6%となっており、全国平均値を下回っている。
これに対する要因分析等の対応が望まれます。
- 卒業生の動向について今まで以上の把握をしていただき、卒業生の社会貢献を報告していただけることを望みます。
- 就職支援体制が確立されており、それぞれの学生が国家資格を活かし希望通りの就職を実現しているので、大変良い状況かと思う。
ただ、看護師から転向する学生に対するキャリア教育やサポート体制の明示も必要と思われる。
- 評価は適切である。
他施設に就職した卒業生の業績を把握することは、在校生のモチベーションの向上にも繋がっていくと思われますので、今後、評価をしていただきたいと思います。

- 看護師国家試験対策プロジェクトチームでは具体的にどんな国試対策をしているのか教えてください。
国家試験の合格率が100%と高かった2015年と、92.7%と低かった2019年度の間にはどんな違いが考えられるのか教えてください。
- 看護師の資格を活かして就職しており、病院の就職説明会にも参加している。
入学時から資格取得を目指す環境がある。
本学以外で活躍する卒業生の把握に努める必要がある。

5. 学生支援

- 留学生の相談体制はやや不適切となっているが、毎年留学生の入学希望者は何人くらいいるのでしょうか？希望者が多いのであれば改善する必要は十分にあると思います。
- 留学生の受け入れ等に関しては、大学の国際交流支援室等の協力を得ることも考慮するとよいと思います。
- 高い就職率、学生相談体制、学生への経済的支援体制については、高く評価するところではありますが、中途退学についての分析が望まれます。
なお、医療先進国として、留学生への対応についての充実を望みます。
- 学生と卒業生との交流会等の強化
- 高校で文系履修の学生が貴校入学後理系の専門知識に対し理解が進んでいるか懸念される。
よって、現場での活動も視野に入れ、入試時に理系科目の基礎力が十分にあるかを測るシステムの構築が望まれる。
- 評価は適切である。
- 卒業生数と就職希望者数と就職者数が違うのは、卒業しても就職を希望しない学生、就職しなかった学生がいたということでしょうか。その学生は卒業後どんな進路に進んだのでしょうか教えてください。

○クラス編成されており、面接など学生から相談を受けやすい環境を整えている。

就職にあたり、イメージが湧きやすいよう見学会などへの促しがある。
留学生の相談体制の構築が必要である。

6. 教育環境

○課題として明記されていますが、施設・設備については今すぐに改善できる事案ではありませんが、絶対に必要ですので取り組みをお願いいたします。

○LGBTQ への対応を今後考えていく必要があるのではないかと思います。

○施設の老朽化・狭隘化に対する計画的な修繕・更新等の対応が必要であると考えます。

その他の実習実施体制、防災・安全管理については適切に行われているものと考えます。特に、自衛消防隊設置や全学的な防災訓練の実施は特筆すべき事項であり、学内の安全管理体制も十分に行われていると考えます。なお、今後、災害発生時の行動マニュアルの作成が望まれるところであります。

○ON LINE での教育方法の充実強化

○施設・設備等設置基準に適合しているが、施設の老朽化等がすすみ、建替えや増設が望まれる。

また、学校 ICT 化の積極的対応も必要かと思われる。グローバル化の時代に即応した人材育成の面からも海外研修プログラムの確立が急務である。

○評価は適切である。

設備・教育用具等の整備には限界もあると思われませんが、予期せぬコロナウイルス感染症の問題でオンライン教育の環境整備が注目されていますので、前向きな検討が必要かと思えます。

○教育環境については重点課題 3 にも書きましたが、実際に学校を見学させていただきたいと思えます。

教育環境を整備するためには予算が必要になりますが、施設・設備を整備するための予算はあるでしょうか、差し支えない範囲で教えてください。

○施設の老朽化、また学生人数にマッチしたスペース、設備の確保が不十分となっている。

学生の安全を考慮した対策が考えられている。安全管理体制が整備されている。

感染症対策に関しても、ガイドラインに準じた対応をしている。

7. 学生の募集と受入れ

○評価が適正とほぼ適正の為、特に問題はないと思われます。

○定員割れするようなことはなく、安定した受験者数であることは、獨協医大に対する信頼性・立地条件・学生募集活動等の学校側の努力の成果であると考えます。

○わかりやすい School Guide があり素晴らしい。

○学生募集に関しては、独自性と魅力ある学校教育を明確化し、アピールすることが大切である。

また、学納金は安価な額は魅力的であり獨協学園全体として採算が取ればよいと思われる。

○評価は適切である。

○今年度1学期は、オープンキャンパス・学校説明会を開催することができないので、学生募集活動が例年よりも難しい状況だと思います。ホームページ・パンフレットなどどのように工夫しているのか教えてください。

○オープンキャンパスや学校説明会があり、情報提供をする体制ができている。

ホームページやパンフレット作成など、学生が拾いやすい媒体へ情報を載せている。

8. 財 務

- まったく問題ありません。
- 適切に行われていると考えます。
- 財務情報管理および公開体制は全学的に医科大学で行っているため特に問題は認められない。
- 特にありません。
- 評価は適切である。
- 計画的に予算が組まれている。
中間決算も行い、状況把握に努めている。

9. 法令等の遵守

- 個人情報保護がほぼ適切との評価ですが、これは早急に改善し適切な評価になるようお願いを致します。
学校関係者評価に関する評価が不適切となっておりますが、引き続き取り組む事により評価は改善されていくと思えます。
- 学校関係者評価の実施及び公表が未実施であったが、今回実施予定となり、各項目において適切に行われることは、学校の姿勢を評価するものであります。
- 学校教育法・保健師助産師看護師法。養成所指定規則に基づき適正に運営されていると思われるので特に問題は認められない。
ただ、貴校独自の個人情報保護規定の整備が望まれる。
- 評価は適切である。
自己評価は適切に実施されています。根拠に記載されているように第三者による学校関係者評価の構築に期待しています。
- 個人情報保護については獨協医科大学の規定を参考に、早く定める必要があると思えます。

- 関係法令に沿って学校運営がされている。
自己評価結果を公開している。
教育に関する情報をホームページや学校説明会などで公開している。

10. 社会貢献・地域貢献

- 国際交流により海外の教育との違いを経験するのは良いことだと思います。
※しかし交換留学ならば、長期間での留学でしっかりとした勉強を望みます。難しいと思いますので、私個人の意見です。
ボランティア活動をしている側は第三者に評価してもらう気持ちはないと思いますので私からの評価はできません。
- ボランティア活動の発表の場（紙面等でも可）があること、また、ボランティア活動の評価が具体的にないとよいと思います。
- 看護師の育成を目的としていることから、今後、災害時の避難所における活動等、学校と地元壬生町との連携を深めていければと考えます。
- ボランティアの強化を望みます。
- 関係団体の講習会、研修会等の講師派遣、また学校施設や教材など貸出提供し、地域貢献していると思う。
ただ、グローバル化が加速している現代では、海外教育機関との交流等を行う必要があると思った。
- 評価は適切である。
- 貴学が学校としてあまり社会貢献・地域貢献ができていないと書いてありますが、4000人以上の卒業生の皆さんが地域の保健医療に大きく貢献していると思います。
- 地域とつながり、必要な人材や教材の提供をしている。
ボランティアへの活動支援も行っている。
国際交流の視点において、何かしらの行動が必要と考える。

以上